

東北農政局長賞を受賞しました — 未来につながる持続可能な農業推進コンクール 有機農業・環境保全型農業部門 —

株式会社ヨークベニマル(本社:福島県郡山市、代表取締役社長:大高 耕一路、以下「ヨークベニマル」)は、令和7年度「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」において、有機農業・環境保全型農業部門(個別経営の部:加工・流通・消費)の東北農政局長賞を受賞しました。

この度の受賞は、ヨークベニマルの地域農業との連携強化、有機農産物の安定供給体制の構築、そして消費者理解の促進における取組みが評価されたことによるものです。

ヨークベニマルは、これからも生産者の皆さまとの連携を通じてパートナーシップを構築し、地域農業の活性化と持続可能な社会の実現に向けて取組んでまいります。

【コンクールの概要】

東北農政局は、農林水産省主催の「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」の一環として、東北地域でGAP・有機農業などの環境保全型農業に意欲的に取組む農業者や事業者を表彰しています。

令和7年度は有機農業・環境保全型農業部門の東北農政局長賞(全1点)が決定されました。



△2026年2月3日(火) ヨークベニマル本社で行われた授賞式の様子

【ヨークベニマルが取組む農産物の環境負荷低減】

◆「三ツ星野菜(果物)」の販売

- お客様に『安全・安心』で『味の良い』農産物をお届けするため、ヨークベニマルが独自に定めた「農薬の使用回数」や「化学肥料の窒素成分」などの基準を満たした農産物を「三ツ星野菜(果物)」として販売しています。

「有機農産物」売場の一例



◆オーガニック商品の取扱い

- 化学肥料や農薬の使用を可能な限り抑え、自然の動植物を守り、生物多様性を保全するなどの条件を満たすオーガニック農法(有機農業)によって生産され、認証を受けた農産物を販売しています。

- 有機農産物のコーナーは、249店舗中194店舗に常設しています。

◆「みえるらべる」の表示

- 農林水産省が推進する「みどりの食料システム戦略」に基づき、持続可能な食料システムの構築に向けて、生産段階における環境負荷低減の取組みを評価し、星の数で分かりやすく伝える「みえるらべる(※)」を表示しています。

- 「環境にやさしい農産物 POP」を活用し、認知度向上に努めています。

※「みえるらべる」は、消費者の皆さまがこのラベルを‘見て’、環境負荷低減に資する農産物を‘選べる’ようにするため、農林水産省のガイドラインに基づき対象品目に表示する仕組みです。

◆生産者の持続可能な営農を支援

- 生産者の皆さまの持続可能な営農を支援するため、年間契約により取引価格を決定し、計画的・安定的な生産・出荷体制の構築に努めています。
- 有機野菜の地産地消を確立するため、「ヨークベニマル版 オーガニックビレッジ構想」を掲げ、出店エリアの行政機関と連携して取組みを進めています。

「みえるらべる」の一例



「みえるらべる」を活用した売場の一例

